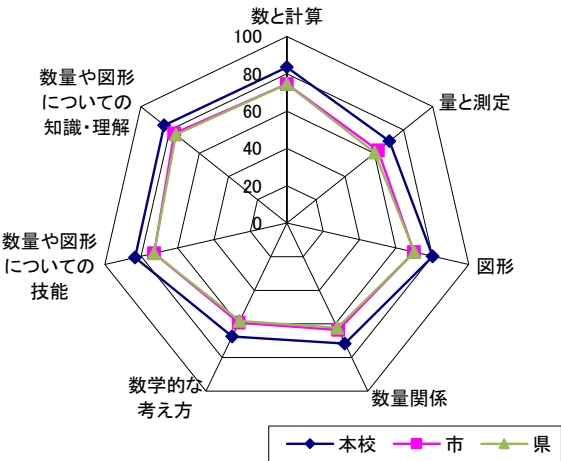


宇都宮市立横川中央小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	83.5	74.5	74.6
	量と測定	70.4	62.4	60.4
	図形	80.2	69.9	70.1
	数量関係	71.7	63.6	62.3
観点	数学的な考え方	67.5	59.2	58.3
	数量や図形についての技能	83.4	72.9	73.0
	数量や図形についての知識・理解	84.1	77.1	76.0



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○平均正答率は83.5%で県より8.9ポイント上回っている。 ○特に「余りのある除法の計算の答えを確かめる式を完成させる」問題の正答率は85.4%で、県を21.4ポイント上回っている。 ●「3位数+3位数=4位数(繰り上がりあり)」の正答率は79.3%で県より8.1ポイント下回っている。	・朝の学習や授業、家庭学習等を利用し、繰り上がりや繰り下がりのある加法・減法の計算問題に繰り返し取り組み、技能の定着を図る。
量と測定	○平均正答率は70.4%で県より10.0ポイント上回っている。 ○「はかりが示す重さを読み取り、みかんの重さを求める」問題の正答率は79.3%で、県よりも24.4%上回っている。 ●「ドッジボール1個のおよその重さを選ぶ」問題の正答率は、56.1%で、県より7.4ポイント下回っている。	・重さの単位についての理解を深めるとともに、重さの感覚を身につけることが大切である。身の回りにあるいろいろな物を手に持って重さを感じたり、重さをはかりで測ったりする活動を取り入れ、日常生活と関連させて重さの感覚を養うようにする。
図形	○平均正答率は80.2%で県より10.1ポイント上回っている。 ○特に「正方形に内接する円の直径の長さを選ぶ」問題は90.2%で、県よりも15.6ポイント上回っている。 ●「箱に入った同じ大きさのボールの半径の長さを選ぶ」問題の正答率は、県よりも6.6ポイント上回っているが、58.5%と高くない。	・円の単位についての復習問題に定期的に取り組むようにし、確実な定着を図る。 ・図形単元の授業の中で、既習事項を確認し、復習ができるような授業展開にする。
数量関係	○平均正答率は71.7%で県より9.4ポイント上回っている。 ○「未知の数量を□として、数量関係を表した線分図を選ぶ」問題の正答率は95.1%で、県よりも11.4ポイント上回っている。 ●「棒の高さが同じでも表す人数は異なることを説明する」問題の正答率は、県よりも4.2ポイント上回っているが、35.4%と高くない。	・グラフの読み取りに関して、縦軸と横軸の関係を確実に捉えることができるようにいろいろなグラフを読み、繰り返し練習する。 ・日頃から問題文や資料をよく読み取り、自分の考えを言葉で表していく活動を増やしていくようにする。